

福生 FUSSA

第 65 号

60 年 4 月 20 日

発行 福生市議会

東京都福生市本町5番地
電話 0425 (51) 1511 (代表)

市議会だより



花曇りの空の下

ブランコで遊ぶ子どもたちを

春が包みます

— 明神下公園で —

より一層住み良い街に!!

総額112億4,506万円を可決

＝ 昭和60年度一般会計予算 ＝

春のたよりが聞かれる三月七日から二十二日までの十六日間にわたって、第一回定例会が開催されました。

この定例会には、昭和六十年年度福生市一般会計を初め、五つの特別会計予算や条例の新設と一部改正などが決まりました。

長引く景気低迷により、国はもとより地方財政にも厳しい影響を及ぼしており、当市の六十年年度予算も前年に比べ四・四％の減額予算になりました。

厳しい財政状況下で編成された昭和六十年年度一般会計予算の総額は百十二億四千五百六万九千円で、前年度に比べ約五億二千万円、四・四％の減額になりました。

これは、本年度より国民年金印紙購入基金を新たに設置したためで、この部分を除くと〇・二％の微増となりますが、財政事情は依然として厳しいものがあります。

予算の内容を見ると、歳入では市税が全体の四三・四％を占め、前年度より約四億一千五百万円、九・三％の増額になっています。

国有提供施設等所在市町村助成交付金等は〇・一％の微増にとどまり、地方交付税も二・二

％と依然低い伸び率になりましたが、都支出金については前年度比約一億七千四百万円の増、率にして二九・五％の伸びとなっています。国庫支出金は前年度より一億七千六百万円余り減額され、国の厳しい財政事情がうかがわれます。

歳出面では、自主防災組織の育成や消防自動車の購入等を含む消防費が一九・三％の伸びを示し、民生費では、市立保育園や田園会館の工事等の予算もあるが、国民年金印紙購入代を六十年年度より基金とした等のため八・八％の減額となりました。

その他主要事業としては、仮称熊牛公園の新設工事を初め五つの公園の新設や、市営住宅の新築等が予算化されました。

審議日程

3月

- 7日 本会議
- 8日 本会議
- 11日 一般会計予算審査特別委員会
- 13日 建設委員会
- 厚生委員会
- 15日 総務委員会
- 19日 議会運営委員会
- 22日 本会議

第一回定例会

第一日目 会期を十六日間と決定した後、六十年年度に向けて市長から施政方針演説があり、今後の市政の方向が示されました。

続いて通告のあった五人の議員より学校や基地問題、防災対策等について一般質問を行いました。

第二日目 前日に引き続き一般質問を行った後、議案審議に入り、条例の新設や一部改正、昭和六十年年度の各会計予算などが提案され、それぞれの担当委員会へ付託し、昭和六十年年度福生市一般会計予算については、特別委員会を設置し審査することになりました。

第三日目 休会中に各委員会で審査された結果が各委員長より報告され、福生市交通安全対策協議会条例を初め、各会計などすべて原案のとおり可決されました。

また、議員より新たに提案された衆議院議員定数格差是正に関する意見書も全員一致で決まり、関係機関へ送付されました。

特別委員会のやりとりから

議会では、昭和六十年度福生市一般会計予算

審査特別委員会（林田武委員長、石川泰一副

委員長）を設置し、十一日から三日間にわた

り熱心に審査しました。

市民税の増

今後の見通しは

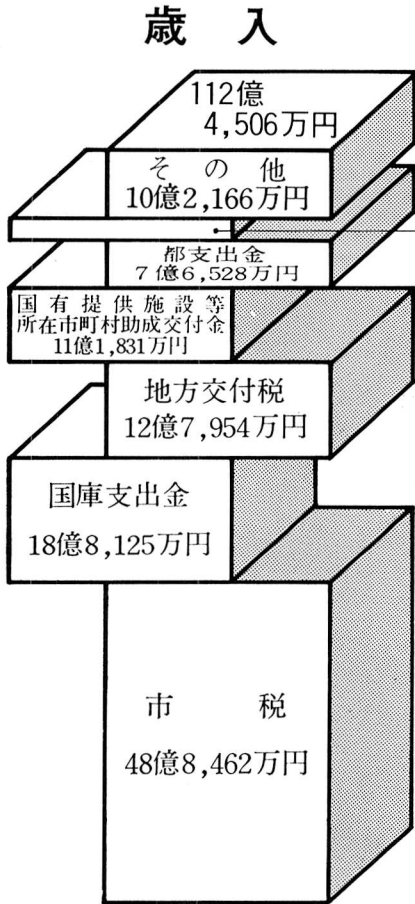
《歳入》

また、本年度で税法改正が行われると五万人以上の市になり個人の均等割も引き上げられるのか聞きたい。

問 市民税個人分は、五十九年度に比べ八千四百二十万円の増となるが、六十年度も減税措置がないとすれば、さらに増収となると思うがどうか。

答 譲渡所得で五十九年度に比べて約六千五百万円少なく見込んでおり、今後この分を含めると、さらに増収になると思う。また、税率が改正されたが、

市債 2億9,440万円



国勢調査の人口を使用しているため、均等割は千円から千五百円となる。

問 市民税の個人分で、特別徴収と普通徴収を合わせて非課税者は何人くらいいるのか。

答 老年者が約五百五十人、未成年者が約三百人、無所得者約千七百人、障害者、生活保護者など合計で四千くらい見込んでいます。

問 電々公社が民営化されても、納付金はいただけなのかどうか聞きたい。

答 毎年一月一日現在で課税されるため、四月以降民営化されても六十年度的については従来どおり納付されるが、六十一年度からは、固定資産税と償却資産が課税対象となるが、都の指導に基づき今後準備したい。

市民会館の

利用状況は

問 市民会館の使用料は昨年と同じ二千二百九十九万円計上され、施設管理委託料が三千九百五十二万円、約千六百万円マ

イナスになっているが、開館日数と稼動日数を聞きたい。

答 開館日数は年間約二百九十五日前後になり、大小ホールの稼働率は四三%から五五%くらいで、使用料もここ数年二千三百万円程になっている。

基地の固定資産

交付金との差は

問 固定資産の評価替えがあったが、基地の固定資産を基地の平均で算出すると、どの程度交付金との差が出るのか。

答 平均の宅地価格で算出すると約十八億三千六百万円となり、基地交付金の前年度実績額は約十一億五千九百万円であり、差し引き約六億八千三百九十万円の不足と思われる。

問 固定資産で滞納繰越の収入率が五・四%と計上されて

いる理由は何か。

答 最近ローン等で家屋を購入している人が多く、その支払いに追われ納税できない例が多くなっているため、今後勉強し徴収率の向上に努力したい。

問 軽自動車税も税率が変わって調定見込み額が増額となった根拠は何か。

答 昨年六月に税条例の改正を行い、特に日本人分が約二七%アップとなったためである。

西多摩広域行政圏

今年度の施策は

《歳出》

問 西多摩広域行政圏協議会において、六十年度的福生市に関する施策があるのか聞きたい。

答 六十年度は研究段階であり、福生市を含め西多摩地域全体あるいは、一部の町村で行う事業等の分析と都側との相談が始まったところである。

問 市営住宅も三階でなく高層化にして、土地の有効利用を図ったかどうか。

答 全体計画として認可を取っており、周辺地域の中でも三階建てが理想と思われるが、今後用途地域とも考え合わせ十分研究したい。

問 行政コストの軽減として電話交換業務や印刷等は、民間委託でも十分可能と思うかどうか。

答 民間委託の関係を含め、委託料の研究をするとともに民間のご意見を伺いながら十分検討したい。

緑の保存

その対策は

問 市内に残された数少ない緑地を保存するため、緑地の買収や緑の配置図等を作成したらどうか。

答 本年度は、市内に残されている高木について調査したい

と考えており、配置図等は今後個々のデータを積み重ね検討していきたい。

問 樹木等の調査の基準について聞きたい。

答 一・五メートルの高さで直径五十センチメートル、幹周り一メートル程度の樹木を対象に、市内全域を調査したい。

問 五十九年度における生活資金貸付業務の、実績等について聞きたい。

答 貸付状況だが、五十九年度は四件の貸付が決定しており、内容は進学や就職、父親のけが等で、金額としては三万円から五万円となっている。

評判の良い

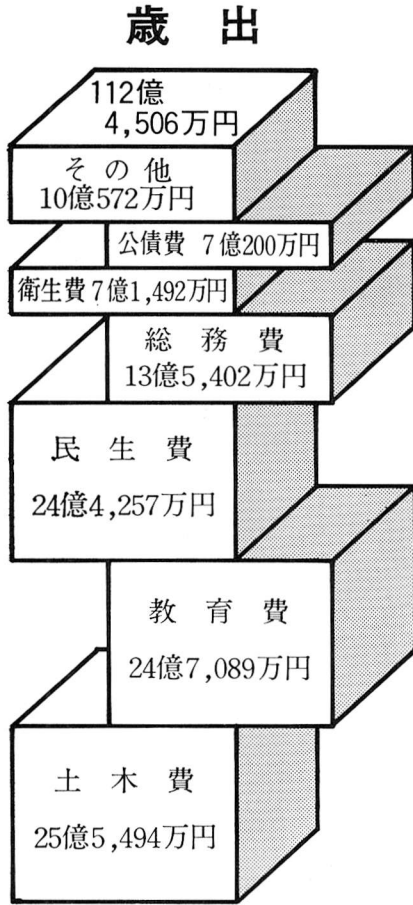
健康教育

問 成人健康対策の一環として実施している健康教育は、非常に好評のようだが、昨年の参加状況と、健康診査について聞きたい。

答 昨年は五回実施し、一回に六十人から八十人程度受講されている。

今年度も関係者の協力を得て各町会単位で実施していきたいと思う。

また、健康診査については、千百人を予定しており、全員に通知し初期検診に努めていく。



とうろん 討 論 とうろん

< 反対 >

国の臨調行革によって、国民の生活はますます苦しくなっている。

地方自治体にとっても国庫補助金の削減により負担増がもたらされ、また、60年度は減税措置がなく税収は前年度比 8.5%の増にもなっている。

福祉の施策では、特殊疾病患者福祉手当の支給等の新規事業はあるが、大部分は前年水準のまま据え置かれ、保育料にあっては値上げがないにもかかわらずD階層が増えている。

教育施策を見ても長年父母の願いである中学校給食の実施等いまだに実現されないなど、市民にとって冷たい予算となっている。

財政的に見ても都市施設整備基金や財政調整基金等を十分活用すれば、山積した市民の要求は実現できます。基地問題についても、横田基地に核通信施設が設置され、危険な基地であることが明らかとなり、横田基地は迷惑であることを政府に訴え、5万市民の命と暮らしを脅かす核通信施設の撤去を強く主張し本案に反対する。

< 賛成 >

本予算は、大変厳しい状況下のもとで編成されたものと思われるが、従来より引き続き進められて来た都市基盤、生活基盤の急速な整備の上に立って、特にソフト面でのレベルアップ、新施策の実施等に意を用いた予算となっている。

一般会計総額は名目上 4.4%の減となっているが、国民年金印紙代を基金として処理する等の事務改善、投資的経費の一次的減少等のためであり、実質的には対前年比 0.2%の増になり行政サービスの向上に役立っていると思われる。

また、経常収支率も 0.6%の増に押えられ、健全財政の維持も図られている。

歳入では、国庫支出金の削減にもかかわらず、市税の伸びや基地関連予算、都予算等の財源確保の努力によって一定水準に達しているが、今後も努力されるよう希望するとともに、新たな財源の獲得、税収の実績向上及び、受益者負担の適正化の検討も重ねて要望する。

歳出では、実施計画に基づく予算編成が行われ、公園、下水道、道路、教育施設等の整備が図られ、また、民生、衛生、教育を初め各分野で施策の充実が見られるが、これらの効率的利用と、事業の充実をお願いし本予算に賛成する。

教職員の指導徹底を

④ 昭和六十年年度の各学校の教育方針なり姿勢を聞きたい。

⑤ 教育者は中立の立場でなければならぬと思うが、一市

質問 五十八年六月に質問した次の事項の経過を聞きたい。

① 小中学校の教職員組合の加入状況について

② 小中学校における卒業式、入学式時における国旗掲揚と国歌である君が代斉唱の状況について

③ 主任手当を抛出し広島方面に児童など連れていっていることについて、手当の趣旨に反するとして西教組に申し入れたということだが、その後の状況について



校庭に元気な声が弾みます

民からの手紙だと先生が授業中の組合のピラ作りをしているとか、組合役員がいやがらせて脱退させない等があると聞くがどう思うか。

教育次長 ① 小学校では組合加入率が五二・八％で前回より四・九％の減、中学校では五四・七％で八・五％の減となっている。

② 五十八年度の卒業式に君が代を斉唱したのは一小、テープで流したのが四小で、国旗を屋上と式場に掲揚したのが一小、二小、六小、一中、二中、また、屋上のみが三小、式場のみが四小となっている。

五十九年度の卒業式に君が代を斉唱やテープで流した学校はない。国旗については、屋上と

式場に掲揚したのは一小、二小、一中、二中、屋上のみが三小、六小、式場のみが四小となっている。

学習指導要領では、国歌の斉唱や国旗の掲揚は望ましいとなっているが、教職員の声としては政治的、イデオロギー的な考え方をしており、校長会等で要望はしているが、扱いは各校がまちまちである。各校の行事等には、国歌の斉唱や国旗の掲揚が行われる学校になって欲しいと念願しており、その実現に努力していきたい。

③ 本年一月に、西多摩地区教育長の連名で広島への子供供遣事業を中止するよう申し入れたが、現状は予定どおり実施されるようであり残念である。小中学校の主任数は、七十四人で組合加入率は六二・一％となっている。

④ 新たに学校教育の指導目標を設けて、人権尊重の教育、地域に根ざした教育、国際理解

自主防災組織の充実と全町会に資材庫の設置を

質問 各町会に自主防災組織が着々と進んでいることは、喜ばしいことである。災害時に自らの手で生命、財産を守る意味から、可搬式ポンプやろ水器等を準備しておくため、全町会に資材庫を設置したらどうか。また、緊急用非常食の調達方法として、市内のスーパーマーケットと市が契約することも考えら

⑤ 学校長以下教職員は、公教育の担い手である立場を理解して、日々精励していると思うが教育者としてご指摘のような自覚に乏しい教育者がいることも事実であり、十分調査したうえで対処したいと思う。

一般質問



第1回定例会では5人の議員が一般質問を行いました

れるがどうか。

市長 当市の地域防災計画を見直すとともに、各町会に自主防災組織もできたので、その育成に努めていきたい。資材庫については、規模や場所等問題もあるが、前向きに取り組んでいきたい。また、災害時の食糧確保については、東京都地域防

八高線以東の

開発を急げ

質問 国道一六号と八高線との間の細長い地域は、ハウス等が老朽化しミニ開発がされつつあり、道路や排水等の基盤整備

も遅れている。今後長期計画を立てて、この地域に力を入れるべきである。また、都営や市営の住宅があるが、今後の建て替

計画との関連もあるので十分検討したい。

市民部長 資材庫には一般的に小型発電機、消火器、医薬品、乾パン、毛布、可搬式ポンプ等が収納されるが、市の防災計画を見直す中で検討していきたい。

えについても聞きたい。

市長 ハウスを取り壊してミニ開発もされ、新しい市民が多く生活しているが、基本的には実施計画等でこうした未整備地区のプランを早期に立てて取り組むべきが至当と思うので、できるだけ早い時期に調査をして検討したいと思う。

建設部長 八高線以東の面積は約五十五ヘクタールで、道路も市道六割、私道四割ということとで、公道としての整備が遅れていると思うので、出来るだけ早く公園や道路等整備していきたい。

企画財政部長 東京都の話では、第三都営は一期工事として六十年で、二期工事を六十二年以降に着手、第四都営は六十二年以降に、第五都営は六十二年以降にそれぞれ実施する計画であるということである。

総務部長 この区域にある第四市営の建て替えは、すでに十九戸除却し二十四戸が残っているが、これから第三市営に着手する予定であり、これが六十二年までかかるかどうかははっきりしないがその後第四市営を実施する計画である。

災害時に備え

備蓄庫や分団の設置を

質問 現在の消防分団は、青梅線以西にあり、東部には分団も備蓄庫もない状態であり、広域災害が発生した場合に、青梅線等があるため効果的な消防活動は不可能である。そのために青梅線以東にも備蓄庫や分団を設けるべきだと思うがどうか。

市長 設置場所の関係もあるので、ほかの防災組織と合わせて検討したい。

市民部長 消火栓の関係でみると市内に四百七カ所あり、このうち青梅線以東は百八十九カ所、四六・四％、八高線以東では百八十九カ所中六十二カ所、三二％となっている。

第1回定例会を

傍聴された市民の方々

(敬称略)

- 東浦 春浪
- 池田 茂栄
- 会田 ゆき子
- 久保 頼野
- 上條 孝夫
- 鈴木 幹雄
- 鈴木 聖子
- 鈴木 登志夫

議会日誌

1月	2月
14日 厚生委員会	4日 東京都市収益事業組合議会
18日 議会運営委員会	6日 岩国市議会視察来市
23日 市議会だより編集会議	7日 全国市議会議長会基地協議会総会(8日まで)
24日 第一回臨時会、議会運営委員会、全員協議会	11日 東京都市収益事業組合議会行政視察(12日まで)
25日 全国市議会議長会基地協議会	14日 東京都市議会議長会議員研修会、岩国市議会視察来市
	15日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第三委員会、全国市議会議長会第38回評議員会
	18日 福生伝染病院組合議会行政視察(19日まで)
	19日 自主防災組織説明会
	20日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第一委

都立保育園の移管問題 今後の対応は

電気関係の復旧

その対応策は

質問 災害発生は昼夜を問わない。夜間の場合、今日の文化生活の中で市民に与える不安感は大いと思う。また、広大な地域を受けもつ東京電力青梅営業所だけでは、応急対策も不可能と思われるので、市内の電気業者と提携し、市の指示で対応する考えがあるか。

市長 東京電力側とも十分調整し、市内の電気工事店の協力が得られるよう努力したいと思う。

質問 三多摩には都立保育園が十三園あり、四月一日から武蔵野市と羽村町の二園が移管することが決まっていますが、そうした状況下において当市は今後どう対応する考えか。

市長 十二月の定例会でもご答弁申し上げたとおり、市の考

えは変わっておらず進展していない状態である。

平等に補助して欲しい

無認可保育所

質問 児童福祉法では、保育に欠ける乳幼児を市長は保育所に入所させなければならぬとしているが、現実には六カ月以上とか定員の関係で入所できない子供がいるため、無認可保育

所としての意義があるわけである。当市にも四カ所の無認可保育所があるが、二園しか補助金が出ておらず、おのずと保育料にも差が出てくるので、平等に補助すべきである。こうした実態についてどう考えるか。

市長 認可保育所を補う暫定措置として無認可保育所の補助制度ができたもので、現在の乳幼児の減少傾向の中で、民間保育所の運営も問題となっている。都の指導も認可保育所の充実が先決であり、無認可保育



木登りも上手でしよう

所については、特に必要と認められた場合のみ補助の協議対象としていること、認可保育所の対応策を基本にして考えていきたく。

福祉部長 補助を受ける二カ所の無認可保育所も十八人中市内が八人と、今の状態であり、今後は認可保育所の充実を考えていかなければならないと思う。ほかの二園は補助していないが、市には調査権はないが今後実態を把握したい。保育料は月額二万五千円から三万五千円で、その他入園料として一万円とか二万円となっている。

行財政改革

その取り組みは

質問 今や全国の自治体では、行財政改革の推進が至上命令となっている。都下各市でも検討委員会ができてつがあるが、当市では具体的にどう取り組もうとしているのか。また、市長の諮問機関として「将来の福生市を考える会」を設ける考えがあるか。

市長 国、地方を問わず財政再建と行政改革の推進が最大の国民的課題となっているが、当市としても職員給与の適正化、定数管理、組織機構の見直し等に努めてきた。昨年十二月に都から行政改革の指針として示され、行政改革推進本部の設置、行政改革大綱の策定が二本柱となっている。この点について全庁的に取り組むよう職員に強く

3月	
22日	員会 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第二委員会
25日	横田基地対策特別委員会及び陳情
26日	東京都市議会議長理事会及び総会、西多摩農業共済事務組合議会議政委員会
27日	建設委員会
28日	議会運営委員会
1日	青梅・羽村・福生地区都市下水路組合議会議山火葬場組合議会議会、東京都市収益事業組合議会議会、東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合議会議会
2日	福生伝染病院組合議会議会
4日	西多摩衛生組合議会議会
7日	第一回定例会(第一日目)、議会運営委員会
8日	第一回定例会(第二日目)
11日	昭和六十年年度福生市一般会計予算審査特別委員会(13日まで)
14日	建設委員会
15日	厚生委員会
19日	総務委員会
22日	議会運営委員会 第一回定例会(第三日目)、全員協議会

申し伝えた。いずれ市長を推進本部長とする福生市行政改革推進本部と、市民を含めた福生市行政改革推進委員会を諮問機関として設置したい。

また、市長の諮問機関としての「福生市の将来を考える会」については、大変貴重なご提言であるので、今後十分検討して対処していきたいと思う。

公園や広場が欲しい

本町地区の対策は

質問 公園や緑地の確保と適切な配置について検討していかなければならないと基本計画にうたわれているが、具体的にどう取り組むのか。また、本町地

区の公園や広場について、扶桑会館前の空地や旧引き込み線跡地も子供の遊び場として利用したらどうか。

市長 計画目標として市民一



放置されたままの旧引き込み線跡地

人当たり六平方メートルの公園確保を目指し、現在四・四平方メートルまで確保できたが、地域的に偏在している面もある。で、今後も未整備地区を重点的にやっていきたい。旧引き込み線跡地は、形態が細長くて公園として適合するかどうか、地主との関係もある。他の利用と合わせて研究してみたい。扶桑会館前の空地も面積が約三百八十平方メートルあり、児童遊園的な広場として適地と思う。関係地主等と相談し計画策定の段階で検討してみたい。

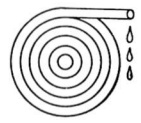
建設部長 扶桑会館前の民有地は中心に道路があり、つけ替えれば公園として活用しやすいが、関係地主等の理解も必要であり、道路整備の計画もあるので、調整する中で検討していきたい。

また、旧引き込み線跡地も地形が細長く、周辺家屋との問題や権利者との調整もあるので将来検討させていただきたい。

四小校庭の雨水

対策を急げ

質問 第四小学校の校庭も整備されて喜ばれているが、傾斜が正門に向っているため少しの



パイプ

議会はいつから開かれる？

最近市民の皆様から議会の傍聴について問い合わせが多くなっております。

定例会は条例で決まっています。三月、六月、九月、十二月に必ず招集されます。

また、緊急に議会を開く必要がある場合は臨時会が開かれます。いつから議会が開かれますかとの問い合わせがあった時、あらかじめ招集日が決まっている場合はよいのですが、それ以外

外はご返事に大変困ることもあります。それは、議会を招集する権限が市長にあり、告示(招集日の七日前までに市長が行う)されるまで事務局でもわかりません。

そこで、過去五年間に開かれた定例会の開会状況を掲載してみましたので、参考にしてください。

なお、議会では、市民の皆様

年	55	56	57	58	59
3月	10日～25日 (3日間)	11日～26日 (4日間)	9日～30日 (5日間)	8日～24日 (3日間)	8日～26日 (4日間)
6月	10日～20日 (2日間)	11日～24日 (3日間)	10日～30日 (4日間)	10日～20日 (3日間)	12日～21日 (3日間)
9月	10日～24日 (3日間)	10日～24日 (3日間)	9日～22日 (3日間)	8日～21日 (3日間)	11日～10月1日 (4日間)
12月	9日～23日 (3日間)	8日～22日 (3日間)	9日～23日 (3日間)	8日～20日 (2日間)	10日～20日 (3日間)

注 ()内は本会議開催日数、それ以外は委員会開催日です。

雨でも道路に流出し、登下校の児童はもとより、一般市民も通行できない状態であるが、この対策の考えはあるか。

教育次長 六十年代で七小、二中、三中の校庭整備を予定しており、これですべて終わる。各学校の雨水については、勾配をつけて側溝や吸込み槽で処理しているが、四小についても万年堀の改良工事を計画しているので、合わせて雨水処理について担当と協議して対処したい。

建設部長 四小前には都市下水道の管が通っているが、上流ですでに溢水状態であり、これが解決しないと周辺の雨水も処理できない現実であるので、四小周辺に三方所の吸込み槽を設けて当面の対応をしたい。

ふれ合いの場である

公衆浴場への補助を

質問 市内に公衆浴場が三カ所あり、市民の保健衛生確保はもとより、地域のふれ合いの場、情報交換の場等として、その存在の意義と重要性が見直されつつある。しかし、この業種も斜陽化傾向にあり、国や自治体も助成措置等を講ずるよう努める旨の法律もできている。

そこで公共性のある公衆浴場の施設等に対して補助する考えはあるか。

市長 公衆浴場については、法令により営業許可や施設の衛生的維持、利用料金等についても制約されている。しかし利用者の減少傾向が続ぎ、公共性とはいえ私企業という立場も配慮して、前向きに検討していきたい。

市民部長 本件の陳情書も議会側で採択されている問題だが、都の補助制度や各市の状況等を踏まえて検討したい。

指紋押捺問題

拒否者に対する対応は

質問 日本に一年以上在住する十六歳以上の外国人は、五年ごとの登録証更新にあたり、指紋押捺しなければならないという法律があり、外国人からは犯罪者扱いであって人権侵害があるとして、指紋押捺を拒否するケースが各地で出ているが、拒否者に対する告発を留保しているところもある。

当市にも七百人からの外国人が一般の人と同じ生活を営み、それなりの貢献もしているが、こうした指紋押捺の考え方や拒

否者に対する対応について聞きたい。

市長 外国人登録法により、国から委任されて市が事務を行っているが、本年度は登録切り替えの年であり、国でも慎重に対応する意向のようであるので、それまでは国の方針に沿って事務処理したい。窓口での対応については、本人にご理解をいただけるよう都の指導を得な

がらやっていきたい。

市民部長 六十年度中に切り替えの該当者は約三百二十人を予定しているが、窓口職員等には直接窓口での応待はせず、別室で切り替えについて十分相手の理解を得るよう説明し、それでも協力が得られない場合は、直ちに告発という形はとらず、都の指導もあるので、指示を仰ぎながら対応したいと思う。

基地への新型機配備等

騒音や安全面の対策は

質問 今まで横田基地にきていたC T 39型輸送機が老朽化したわりに高性能のC 21という機

種が配備され、また、プロペラ機のC 12型も来ているが、こうした機種の変更について市はど

う考えるか。さらにフィリピンのクラーク基地から戦闘機部隊が沖縄の嘉手納基地に移駐したため、C 9 A型機の医療輸送部隊が横田基地に来るという結果になり、また、第三七五戦術航空部隊の移動も考えられるということ、それだけ騒音等も増えることになるが、こうした点の見解を聞きたい。あわせて十二月から二月までの離着陸数も伺いたい。

市長 新型機配備について、軽輸送及び連絡用として使用していたC T 39型二機が老朽化したので飛行中止となり、代わってC 21型二機が一月十五日より配備され、その前に基地から連絡があったので、騒音や安全面について申し入れをした。

クラーク基地工事による横田基地への移駐について事前に連絡がなかったが、その後確認したところ、傷病兵輸送のC 9 A型三機が約一カ月半の予定で一時移駐してきているということであり、その点基地側や国にも今後このようなことがないよう事前に連絡するよう強く要望した。

C 12型については、十分調べていないが、おそらく韓国のオースン基地から来たものと思

基地に飛来する米軍機



での離着陸数だが、飛行総数は十二月が二千二百九十回で、前年が二千五百四十四回、二百三十六回の増、一月は千九百五十六回で、前年が千九百二十九回、二十七回の増、二月は千五百五十四回で、前年が千五百四十九回、五回の増となっている。

基地のまちとして

非核都市宣言を

質問 ① 今年も米韓合同軍事演習が行われ、横田基地でも輸送機による基礎的訓練をしていく。年々核軍事演習の様相を濃くしており、市民は騒音や事故の危険性に脅かされているが市の対応について聞きたい。

② 横田基地は核戦争の空中司令指揮の要であり、指揮通信の中核拠点基地となっている。核戦争の際には横田基地が標的となり、当市も巻き込まれることとなる。非核は市民の総意であり、基地を抱えたまちとして緊急に非核都市宣言をし、意思表示をすべきであると思うがどうか。

市長 ① ご質問が軍事的、国際的な問題であるが、演習中であるので若干飛行回数や騒音も多いと認識している。基地側

にも二回にわたり騒音や事故防止に万全を期するよう申し入れしている。

② 昭和三十五年に世界平和都市宣言をし、その中でも原水爆の脅威に触れ、また、昭和五十六年六月に、議会側でも非核三原則堅持の意見書が出されており、わが国の国是ともいふべき非核三原則を政府に遵守していただくことが最良だと考えている。

市の活性化のため

民間機の乗り入れは

質問 全国に米空軍基地として六カ所あるが、三沢基地では民間機も乗り入れられているが、横田基地も民間機を乗り入れて、国内外に利用すれば便利であり、市も活気づくものと思う。あるいは、ヘリコプターで羽田

意見書

民意が正しく反映する定数配分を

衆議院議員定数格差是正に関する意見書

現在、東京七区、十一区の議員定数配分は、衆議院議員定数五百十一人を人口比率で配分すると十四・一三人となるにもかかわらず八人の配分となっている。

このような人口に比例しない定数配分では、東京七区、十一区の民意は正しく国会に反映されず、はなはだしく公平の原則に反している。

最高裁大法廷は、昭和五十五年六月執行の衆議院議員選挙については、選挙は合憲としたものの、投票価値の格差は違憲として国会に対してすみやかに改正することを強く要請している。

よって、当市議会は政府に対して平等な一票を実現し、現行定数枠内で議員定数を人口比例にとって配分するよう強く要望する。

この意見書は、総理大臣および自治大臣に送付されています。

や成田空港を結ぶことも考えられるがどう思うか。

市長 大変貴重なご提言であるので、基地の共同使用について周辺自治体とも連携を取りつつ調査研究をし、必要に応じて関係機関とも折衝してみたいと思う。

第一回臨時会

二月二十三日

本年最初の臨時会が去る一月二十三日に開かれ、人件費を主とする一般会計と二つの特別会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決されました。

また、一月三十一日に四年間の任期が満了となる収入役の選任も決まりました。

人事

収入役に

高水求氏を再選

五十六年二月一日に収入役に就任した高水求氏の任期が、一月三十一日をもって任期満了となるため、市長より引き続き同氏を収入役として選任するために提案され、全員一致で同意しました。

高水 求氏(熊川一三九九)

陳情 請願

継続

○陳情第五十九一四号
横田商栄会駐車場設置に関する陳情書
福生二一七二
北村 安忠氏
昭59・9・7提出

審議未了

○陳情第五十九一五号
租税教育の推進に関する陳情書
羽村町羽東一六一八
池永 一郎氏 他二十三人
昭59・9・17提出

○陳情第五十九一六号
衆議院議員定数格差是正に関する陳情書
国分寺市東戸倉二二一一六
佐竹 勝義氏
昭59・10・19提出

○陳情第五十九一七号
「土地価格の評価替えによる固定資産税の増税を中止」に関する陳情書
志茂五三
青鹿 頼三氏
昭59・11・19提出